

小学校

s 4-7

4 学年

式のきまり

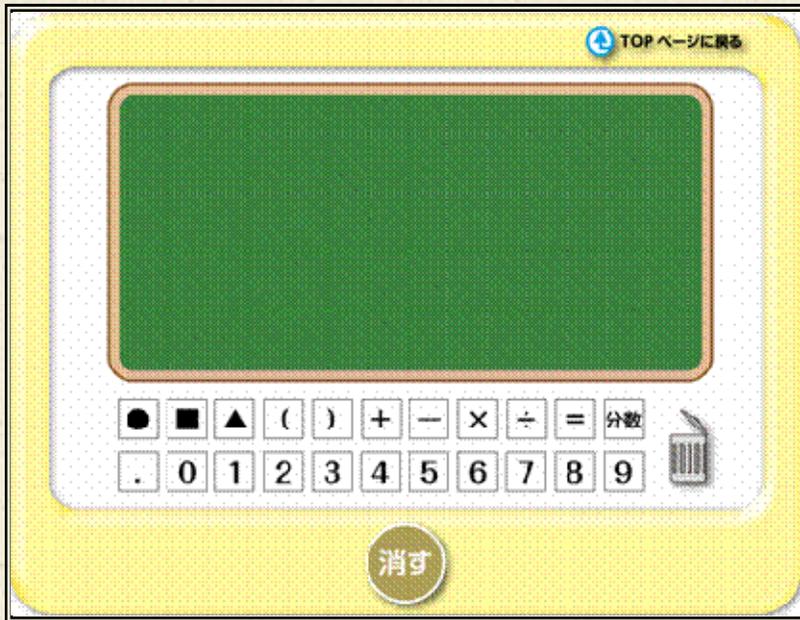
【ねらい】

交換法則・結合法則・分配法則について理解する。

【特徴】

- ◇ 黒板と同じように活用することができます。
- ◇ 数字や記号はカード形式になっているので同じ数字や記号が何度でも使え、移動も自由にできます。

【関連する単元】



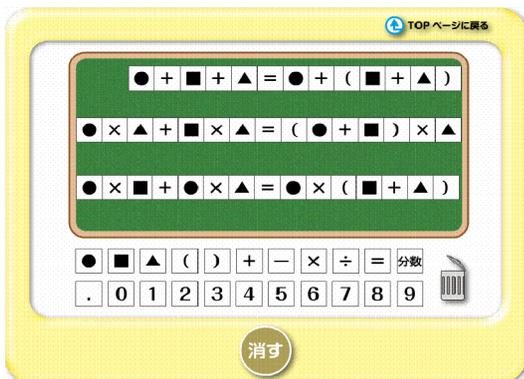
【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



左辺と右辺の値が等しいことを確かめながら式のきまりを理解させることができます

数字のカードを用いることで、左辺の値と右辺の値を計算しながら等しいことを確認させ、式のきまりが成り立つことを理解させることに活用できます。

- ◇ 数字カードを用いて、左辺と右辺の等しい式(結合法則、分配法則等)を示します。
- ◇ 左辺、右辺それぞれを計算させ、結果をカードで提示します。
- ◇ 左辺と右辺が等しいことを確認させ、式のきまりに気付かせます。



式のきまりを記号を用いてまとめ、一般化を図ることに有効です

記号カードを用いることで、数字カードで成り立ったきまりを記号化して表し、一般化を図ることが可能になります。

- ◇ 数字カードで成り立ったことを●■▲を用いて表すことを児童に考えさせます。
- ◇ 児童に発表させながら、記号カードを貼っていきます。
- ◇ 誤りがあった場合は、児童に並び替えさせます。
- ◇ 式のきまりを記号化してとらえさせ、一般化を図ります。



式のきまりの確実な理解と定着に有効です

一般化を図り記号化した式のきまりから、逆に数式をつくらせることにより、式のきまりの確実な理解と定着を図ることができます。

- ◇ 記号カードで式のきまり(結合法則、分配法則等)を示します。
- ◇ 記号化された式のきまりを使って、児童に自由に数式をつくらせます。
- ◇ 児童に発表させ、数字カードを並べます。
- ◇ 成り立っているかどうか全員で確認します。
- ◇ 他の数でも成り立った式を発表させます。